



ちょっとそこまで～お散歩日和(植物編)～



レンギョウ



1号棟の駐車場に上がる車道沿いにレンギョウの花が咲いています。11号棟と夏雲小の境目にも植えられています。英語では「ゴールデンベル」と呼ばれ、その名の通り、枝一面に鈴のような黄色い花を鮮やかに咲かせています。



レンギョウとは、中国名の「連翹」をそのまま音読みしたものです。「連」は連なるですから問題ないとして、「翹」が意味不明です。「堯」は土器を焼くときの輪積みをした形からできた文字ですから、うず高いの意があります。そこから、キジのような尾長の鳥がその尾毛をあげることを言うようになりました。ここから辞書の受け売りですが、まさに飛ばんとする姿勢を「翹企」、枝先の高く上がる木の枝を「翹楚」、そして、その木の高い様を「翹翹」と言うそうです。



以上のことから「連翹」の意味を考えると、キジが尾羽を広げて高く飛び立つさまに似て、茎が高く直立している、または、その花の姿が鳥の尾羽にも似ていることを表し、しかも、それらが連なっていることからできた言葉だろうと推察します。

花びらは4枚のようにも見えますが、根元が筒状になって合体している合弁花です。しかも、よく見ると内側はオレンジ色を帯びているのが特徴です。

雌雄異株で、雄花はおしべが、雌花はめしべが長くなっています。

雌雄異株で、雄花はおしべが、雌花はめしべが長くなっています。



おしべが長いので雄花



めしべが長いので雌花



学名の「*Forsythia suspensa*」の「*Forsythia*」はイギリス人園芸家ウィリアム・フォーサイスの名前にちなみ、「*suspensa*」は枝が垂れるを意味しています。若枝は長く伸び、垂れた枝が地面に着くと、そこから根付き、新しい株を増やしていくからです。

← ウィリアム・フォーサイス

(終)